

投資テーマ

新潟、災害の年

チーム名 ：スコティッシュ
学校名 ：新発田商業高校
学年 ：第二学年
チーム I D ：SL500962
チームリーダー：菅原 素気
チームメンバー：佐藤 直樹
 平田 祐希
 山田 陽平
指導教諭 ：南部 泰正先生

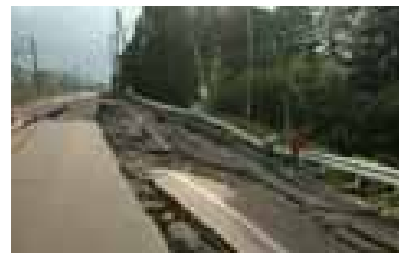
購入企業（銘柄コード：市場名）	投資額
雪国まいたけ（1378：東証 2 部）	382,489
亀田製菓（2220：東証 2 部）	450,109
岩塚製菓（2221：J A S D A Q）	394,200
コロナ（5909：東証 2 部）	810,816
ダイニチ工業（5951：東証 1 部）	411,930
北越工業（6364：東証 2 部）	190,950
コメリ（8218：東証 1 部）	527,350
三井住友海上火災保険（8752：東証 1 部）	455,816
日本興亜損害保険（8754：東証 1 部）	311,622
ニッセイ同和損害保険（8759：東証 1 部）	484,848
エヌ・ティ・ティ・ドコモ（9437：東証 1 部）	519,100
合計	4,991,083

テーマ決定まで

今年の10月23日、土曜日。私たちはそれぞれの休日を過ごしていた。しかし、その日の夕方。私たちを強い揺れが襲った。新潟県中越地震である。

新潟県中越地震は、平成16年12月16日現在、死者40名、重軽傷者4486名、全壊家屋2770、半壊家屋8432棟という甚大な被害となっている。地震発生から約3ヶ月経った今も仮設住宅に住まざるを得ない方たちが多くいるような状況である。去年は毎年、日本漢字能力検定協会（京都市）が発表している「今年の漢字」が『災』に決まったことにも表れているが、震災に襲われた1年であった。始まりは、新潟県福島県を襲った7.13水害に始まり、例年にない数の台風が日本を襲い、そして新潟県中越地震。まるで何かにとりつかれたかのような年であった。

私たちの新潟県立新発田商業高校のある新発田市は、水害・地震ともに直接的には影響がほぼなく、あまり新潟＝被災地という感覚が乏しいことも事実である。そこで、今年の災害で被害を受けた、または影響があった会社を調べてみることにし、今回のストックリーグのテーマを、**新潟県を襲った震災に関連した企業**、を主軸とし、その他、新潟県の応援したい企業とすることにした。



被害を受けた新潟県小千谷市の道路

企業選定

調べてみると、まず実際に被災地に店舗や工場・倉庫などを持っていた会社。今回、投資したなかでは、『コロナ』『雪国まいたけ』に当たる。直接的に被害を受けたということで、私たちがまず注目した企業群である。次に、私たちがこのストックリーグを行うにあたっての授業のなかでの、「今回の地震で大きい被害を受けた企業はどのような業種か」という話の回答であった『保険会社』ということに着目し、保険会社をピックアップし、購入することにした。その他、『コメリ』『北越工業』などの新潟の応援していきたい企業を選定し、購入することとした。

購入に際して、被害を受けた企業、保険会社に関しては、今回の地震で一時的に株価が下がっており、今、下がっているときに購入しておき、長期的保有によるインカムゲインと、災害前の株価以上に株価が上がった場合に売却したときのキャピタルゲインを目的とし、購入することとした。

企業選定理由まとめ

- (1) 今回の地震で被害が直接的にあった企業
- (2) 地震発生により多額の保険料を支払うことになった保険会社
- (3) その他、地震発生後貢献した企業、応援していきたい新潟の企業

今回、投資した企業は、この三つにカテゴライズした。

投資した企業（銘柄コード：市場名）

(1) 今回の地震で被害が直接的にあった企業

雪国まいたけ（1378：東証 2 部）

まいたけの量産化に成功し、独自の技術力と営業力で圧倒的シェアを誇る。今後も、まいたけ以外の製品や加工食品の分野へも積極的に事業展開し、さらなる発展を目指している。

コロナ（5909：東証 2 部）

新潟中越地震で半壊や全壊の家屋に住んでいる人達は仮設住宅や非難所に住んでおり、そこでは雨風は完全にしのげても、これからくる冬の寒さは完全に防げない。そこで、寒さ対策のためにストーブが必要になる。コロナは床暖ストーブ、ファンヒーター、石油ストーブなどさまざまな暖房器具を作っており、新潟の寒さから人々を守ってくれると考えた。しかし地震で一部の工場および倉庫に被害が出てしまい、まだ被害の大きさもわかっていないが、主力の三条工場には被害が出ていないのでまだ安心ができる状態である。被害の方が気になるが、新製品を発売するなどしているので、経営状態は下がっているとは思いますが、だんだんと良い方向へ向かうと思われる。

(2) 地震発生により多額の保険料を支払うことになった保険会社

日本興亜損害保険（8754：東証 1 部）

日本興亜損害保険グループは、「自主独立の精神と自由闊達な社風のもと時代を動かす新しい発想とたゆまぬ努力で豊かで健全な社会の発展に貢献します」という企業理念の下で、平成 15 年 12 月に発生したイラン南東部大地震では義援金を日本赤十字社へ寄付し、この度の新潟県中越地震に際しても、社会貢献活動を行っている。

ニッセイ同和損害保険（8759：東証 1 部）

ニッセイ同和損害保険は、全国 124 ヶ所のサービス拠点に配置した約 1,500 名の専門要員が対応しており業界最高水準の事故対応サービスを提供している。また“幸せへの挑戦”を企業理念に掲げ、「お客さま・株主・代理店・社員・社会・地球の 6 つの幸せづくりに挑戦しつづける」ことを宣言している。そのため、この度の新潟県中越地震での適用地域に住んでいるご契約者の方々に「継続契約の締結手続き」「保険料のお支払い」についての一定期間の猶予期間を設ける等の特別措置を実施している。

三井住友海上保険 (8752: 東証 1 部)

三井住友海上保険は、全国約 86,000 店の代理店を持ち、全国 25 ヵ所の約 4,500 名の専門スタッフが万全のサービス体制で事故の解決まで責任をもって対応している。また、年中無休 24 時間体制で、事故の受付・相談を受けている。この度の新潟県中越地震に際しても、適用地域に住んでいるご契約者の方々に「継続契約の締結手続きの猶予」および「保険料払込みの猶予」の特別措置を実施している。

(3) その他、地震発生後貢献した企業、応援していきたい新潟の企業

亀田製菓 (2220: 東証 2 部)

1957 年設立以来、日本人の食の基本である「お米」を素材とし、子供からお年寄りまで幅広い層のお客さまに愛される米菓をつくり続けている。独自の技術開発・商品開発により、米菓業界のリーディングカンパニーとして発展している企業であり、新潟県民として自分たちの県の企業応援しようという気持ちから選んだ。

岩塚製菓 (2221: JASDAQ)

「おいしさ」を求める姿勢が、米菓を製造しはじめた頃から、ずっと変わることなく保たれている。まさに「高品質・鮮度第一主義」。(品質の高い商品を作ってすぐお届けすること) 景気低迷が長引き、あらゆる分野で価格競争が行われている中でも、姿勢を変えず、「高品質・鮮度第一主義」をまげないという姿勢は購買者に安心を与えている。

コメリ (8218: 東証 1 部)

現在の標準的売場面積は 1,000 m²で、約 15,000 アイテムを扱っている。コメリは H&G という専門店業態を取っている。H&G とはホームセンターの主力商品である DIY 用品と園芸用品に特化した、コメリ独自の専門店業態。チェーンストア・システムを前提として開発された業態で、立地の開発から運営に至るまで、徹底したローコスト思想が貫かれ、高い収益性を誇っている。その証拠に、一般的なホームセンターの出店には、最低でも自店の商圏内に 3~5 万の人口が必要だが、H&G は人口 1 万人前後の地域でも出店ができる。このため、H&G は出店候補地の選択幅が広く、1 店当たりの投資額も少ないため、急速な店舗展開が可能。

北越工業 (6364: 東証 2 部)

北越工業は「AIRMAN」と呼ばれるブランドで知られる小型ショベルカーや発電機、ハンディライト、コンプレッサー、LED 標示装置などを作っている株式会社である。今回の新潟県中越地震は家屋に甚大な被害を与え、住める状態でない家屋がかなり多くライフラインもかなり遮断されている。ここでハンディライトと発電機があれば電気の確保ができる。しかも北越工業が作っている発電機は小型のものが多く持ち運びができるので被災地のいたるところで役に立つことと思われる。山岳地帯では土砂崩れなどが多く発生し

ているが、山岳地帯では、狭い道や場所が多く大型のショベルカーでは入れるところは限られる、しかし、小型のショベルカーであれば大型では取り除けない土砂を取り除けることができるため、小型ショベルカーの需要が増えると思われる。

コロナ（5909：東証２部）

新潟中越地震で半壊や全壊の家屋に住んでいる人達は仮設住宅や非難所に住んでおり、ここでは雨風は完全にしのげても、これからくる冬の寒さは完全に防げない。そこで、寒さ対策のためにストーブが必要になる。コロナは床暖ストーブ、ファンヒーター、石油ストーブなどさまざまな暖房器具を作っており、本格的な冬の到来で需要の増加が見込まれる。しかし地震で一部の工場および倉庫に被害が出てしまい、まだ被害の大きさもわかっていないが、主力の三条工場には被害が出ていないのでまだ比較的安心できる。コロナは関東地方発明表彰や環境大臣賞など、世の中に貢献していることを示すさまざまな賞を受賞しており、信頼できる会社であると思い、投資した。

ダイニチ工業（5951：東証１部）

ダイニチ工業は本社が新潟にあり、創立４０年の歴史ある会社である。石油ファンヒーターや業務用石油ストーブ、環境機器では空気清浄機やプラズマ光脱臭機などを生産し、そのほかさまざまな製品を製造している。理由はコロナと同上。

エヌ・ティ・ティ・ドコモ（9437：東証１部）

ドコモはこの中越地震で、避難所への充電アダプターの提供や、携帯電話の貸し出し、一部避難所や新潟県すべてのドコモショップでの無料充電など、積極的な活動をおこなっている。

投資したその後について

今回、投資した企業は株価が下がっている現状のものを選んだ傾向にある。それは今後の業績回復を見込んでのものだったが、このストックリーグは比較的短い期間での業績の値動きを見るものだったので、私たちのチームの株式投資の選定は判断しづらいものになってしまった。しかし、その中には実際に株価が回復基調にあるものもあり、時間の経過とともに多くの企業が業績回復を果たしていくと思われる。だが、時間の経過によってもたらされるものは、もちろんメリットばかりではない。何かほかの事情で企業の業績が下がることもありうるし、また大災害が発生することも大いに考えられる。事実、いま世界中で予想もされなかった規模の大災害が相次いでいる。このような自然災害と同じように株式投資はいつ何が起きるかわからない。しかし、地震や台風にも技術や知識、経験による予測が可能なように、株式投資にもそのようなテクニクがあることを今回のストックリーグを通して知った。年金などだけでは、生活ができなくなると言われているこれからの時代。このような力で生きていく時代になるのかかもしれないと思った。

ストックリーグを終えての感想

このストックリーグでは、いろいろなことを学ばせてもらって、本当によかったと思いました。初め、自分が株について何も知らない時、いきなり日経の証券面をみてやる気をそがれてしまったけれど、ストックファンタジーやいろいろな資料を読んでいくうちに、株に関する基本用語、証券取引所を形づくっている仕組みや株価とニュースの関連などまとまった内容を学んでいくうちに、だんだんと株に関する理解と知識が増えてきて、証券面を完璧とまではいきませんが、大まかことは分かるようになったし、継続してみるということの大切さも学んでいくうちに分かってきました。それと資料を集めたりするとき、インターネットを使って調べたりしていると、ヤフー！ファイナンスなどの株式投資関連のサイトや、株式に関する掲示板などがたくさんあり、今株式がどれだけ注目されているのかということも伝わってきて、今まで自分が学んだことは将来かならず役立つものであると思いました。（菅原）

今回のストックリーグに参加して最初は、株は大人になってからしたい人だけやるものだと考えていたので、今の自分には関係ないなという考えでした。そんな思いで株に関する勉強をしてみると、新聞でよくみる「東証一部」や「ジャスダック」がどういうものなのかが理解できたり、「インカムゲイン」や「キャピタルゲイン」など株をするには絶対不可欠な用語も理解でき、株は難しいうえに奥深いものだということもわかりました。さらに勉強を進めてみると株はギャンブルとは違い、テーマを決め、毎日新聞に目を通し、自分の投資したい企業の情報を集めをしたり、リスクをできるだけ抑える分散投資などを行うことで、株の知識を何も持たずに特定の企業を一点買いでハイリスクハイリターンというまさにギャンブルをするよりも、確実に儲ける確率が上がるものだと知りました。このように株の勉強をしてみると奥が深くて株も中々面白いものだと感じたので今回のストックリーグで得た知識を無駄にせず将来何かしらに役立てたいです。（佐藤）

今回初めてストックリーグに参加しました。いきなり株をやると聞いたときは、正直驚きました。多少興味はありましたが、株なんて自分には全く関係ないものだと思っていたし、関係あるとしても、もっと大人になってからだと思っていたので、あまり実感が湧かず、実際やってみても、良くわからず、戸惑いばかりでした。ですが、今回の体験で株の仕組みや、株が意外と自分たちの身近なところにあるという事がわかり、いい社会勉強になりました。（平田）

今回、ストックリーグに参加してみて株式というものが、とても複雑で奥深いものだという事を知りました。参加する前までは株価というものはテレビのニュース番組でみるか、新聞の株価欄でみるくらいのもので、身近なものではありませんでした。実際、今回、ヴァーチャルとはいえ、株式を買うにあたって、とても苦労しました。私たちのテーマは中越地震ということで、私自身、比較的遠隔地に住んでいたことで、あまり影響は受けま

せんでしたが、祖父母が中越地方に住んでいたので、地震直後は連絡がとれず、心配でした。幸い少ない被害で済んだようですが、地震の恐ろしさを間接的にですが感じました。多くの被害を出した新潟県中越地震。それに関連した企業を調べることで、経済の部分から地震の被害、影響をみる事ができた気がします。(山田)

参考文献・参考サイト

- ・日本経済新聞 朝刊 10月～12月
- ・『STOCK FANTASY』日本経済新聞社, 2004年
- ・『日経会社情報2004』日本経済新聞社
- ・『新潟県中越地震 特別報道写真集』新潟日報社, 2004年
- ・山崎 潤一郎『株の買い方・売りが面白いほどわかる本 入門の入門編』
中経出版, 2002年
- ・江守 哲『投資で勝てる知識勝てない知識』総合法令出版, 2001年
- ・池上彰『NHK週刊こどもニュースよくわかる経済 3』汐文社, 2001年
- ・笹淵 金二『株をはじめるための本』ダイヤモンド社, 1994年
- ・雪国まいたけ <http://www.maitake.co.jp/>
- ・亀田製菓 <http://www.kamedaseika.co.jp/>
- ・岩塚製菓 <http://www.iwatsukaseika.co.jp/>
- ・コロナ <http://www.corona.co.jp/>
- ・ダイニチ工業 <http://www.dainichi-net.co.jp/>
- ・北越工業 <http://www.airman.co.jp/>
- ・コメリ <http://www.komeri.bit.or.jp/>
- ・三井住友海上火災保険 <http://www.ms-ins.com/>
- ・日本興亜損害保険 <http://www.nipponkoa.co.jp/>
- ・ニッセイ同和損害保険 <http://www.nissaydowa.co.jp/>
- ・エヌ・ティ・ティ・ドコモ <http://www.nttdocomo.co.jp/>
- ・Yahoo!ファイナンス <http://quote.yahoo.co.jp/>
- ・man@bow <http://www.manabow.com/>